

Kuwabara Surveying Corporation

桑原測量 Report

創刊
号

株式会社 桑原測量社
2007年6月15日発行

” 地域・社会に貢献できる元気で豊かな会社をめざして ”



topics

Kuwa Soku Report 1

発刊によせて（代表取締役社長 相澤 紀）

Kuwa Soku Report 2

技術情報（RTK-GPS高精度深淺測量のご紹介）

Kuwa Soku Report 3

GIS（地理情報システム）への取り組み

Kuwa Soku Report 4

社内外活動のご紹介

Kuwa Soku Report 5

新入社員紹介

Kuwa Soku Report 6

桑原測量広報室から



代表取締役社長 相澤 紀

我が社は、60年に及ぶ歴史の中で幾多の困難を役職員全員の力で乗り越えてきました。現在、我々を取り巻く環境は、経済のグローバル化、少子・高齢化、地球環境の悪化等、大きな変化に見舞われ先の読めない時代になっています。

こんな時代にあって企業が飛躍を継続するには、それぞれが「心（人を思いやり誠実である心）・技（毎日の努力による確かな技術）・体（健全な身体）」を充実させることが肝要です。心も磨き、技術を高め、身体を鍛える、誰もが分かっていることですが、実行することはなかなか大変なものがあります。

日々の仕事に追われて、あくせくと過ごしてしまっていることが多いのではないのでしょうか？時代が混沌としている中で余裕のない生活になっているのは事実です。

このようなストレスの時代にあっては、如何にゆっくりとした時間を作れるかが重要で忙中閑ありがうまく出来る人がストレスとのつきあい上手だと思います。人それぞれのストレス解消法は違い、仲間と酒を飲み交わす、旅に出る、スポーツをする、音楽を楽しむ等々、千差万別ですがそのひとつに森林セラピーを加えてみてはいかがでしょうか。

今、森の癒し効用が科学的に明らかにされようとしています。昨年全国で18箇所が森林セラピー基地に認定されました。今年は妙高市で基地の認定を受けるべく準備が進められており、近いうちに基地が誕生することでしょう。このセラピーの森でゆっくりとした時間を家族や仲間と過ごし、豊かな心と元気な身体で「技」を高めていければと思います。その一人一人の「技」が結集することで、桑原測量社の更なる飛躍を約束させてくれるはずです。

平成19年6月1日、当社の経営理念を新たに掲げ、役職員一体となり目標に向かい前進する決意の証として、今回ここに「桑原測量Report」創刊号を発刊することとなりました。今後は皆様から楽しみにされるような広報誌を作っていきたいと思っています。今後ともご愛顧をよろしくお願いいたします。

○ 森林セラピー（森林療法）とは
森は私たちが癒し、リラックスさせてくれるなど様々な効果があります。この効果を科学的に解明して、心と身体の健康に活かそうとするものです。

社 是

経 営 理 念

「人格・正確・迅速」

社会から賞賛され、期待される元気あふれる豊かな会社を皆で築きあげよう！

行 動 指 針

お客様のニーズを誠実に受け止め、その利益を守る。
豊かな経験と技術で地域・社会に貢献する。
技術集団としての研鑽につとめ更なる向上を追求する。
健全経営に最大限の努力をする。
社是・経営理念を基に一人一人が目標を掲げ行動する。
社員・役員・株主が一体となった透明経営を確立する。



業務第1グループ

品 質 方 針

ISO 9001認証取得

当社は優れた品質で、お客様に最高の満足と信頼を提供し続けます。
当社は、要求事項への適合と、品質マネジメントシステムの継続的改善を恒久的テーマとし、有効性と品質向上に更なる力を注ぎ続けます。



業務第2グループ

個 人 情 報 保 護 方 針

Pマーク取得に向けて活動中

当社は、業務上取り扱う個人情報の保護について、その重要性を認識し、適切な運用管理を推進することに努めます。

企業心得 花には水を、人には愛を！ 創設者 桑原清作

悲 報

《 元社長 桑原民雄さん ご逝去 》

当社の二代目社長 桑原民雄さん（56歳）は、平成9年に突然の病に倒れられ、9年半にもおよびご家族の心温まるご看護の甲斐もなく、去る5月31日ご逝去されました。6月2日には、多くの皆様のお見送りを頂き、しめやかに葬儀が執り行われました。私たちは、会社の礎を築かれ温かなお人柄であられた民雄さんに、心から感謝申し上げます、ご冥福をお祈り申し上げます。

民雄元社長に社員が最後の見送り（葬儀当日、会社玄関にて）



長い歳月をかけ確立した、当社が得意とする**RTK-GPS**を利用した**高精度深浅測量**は、**低コストで高精度な成果を得られることから、お客様から高い評価を受けています。**



当社測量船
SUN - MARINE 号
全長 6.34m
最大搭載人員 10名

測量船底部を穿孔加工し船体中央部にGPS受信機と送受信機を一直線に設置し、ローリング及びピッチングによる誤差の影響を最小限に抑えている。



当社、肝いりの深浅測量システムです。どうしてもGPSアンテナと送受信機を一直線にし、単純かつ観測誤差を最小限に抑えることにこだわり、船体中央部の船底を穿孔し、送受信機を海中に入れ込んだのは、日本中探しても当社だけと自負しています。これだけ、こだわったお陰で観測精度は他に絶対負けない高い精度を保持します。海底漂砂観測などは数cm単位で礁砂量を測定することも可能です。何よりも低コストで高精度な成果を得られることが最大の特徴です。
(齊木編集員)

システム実用化までの経緯
平成 5年 4月：1周波RTK-GPSシステム開発
平成 7年 4月：改良及び実用化
平成10年 9月：RTK/OTF導入
平成16年10月：解析アプリケーション導入
平成18年 4月：RTK-GPS固定点利用可能

性能

気象状況	測量船航行可能範囲
検潮	不要(DL 値と TP 値の相関が必要)
波高の影響	影響が殆どない
測深データ	潮位補正不要
水深値の精度	数cm ~ 10数cm
水平位置精度	数cm ~ 10数cm
観測人員	2名 ~ 3名
観測時間帯	24時間観測可能
使用機材	2周波GPS・音響測深器・パソコン・通信機器



GPSデータと測深データがシステム連動

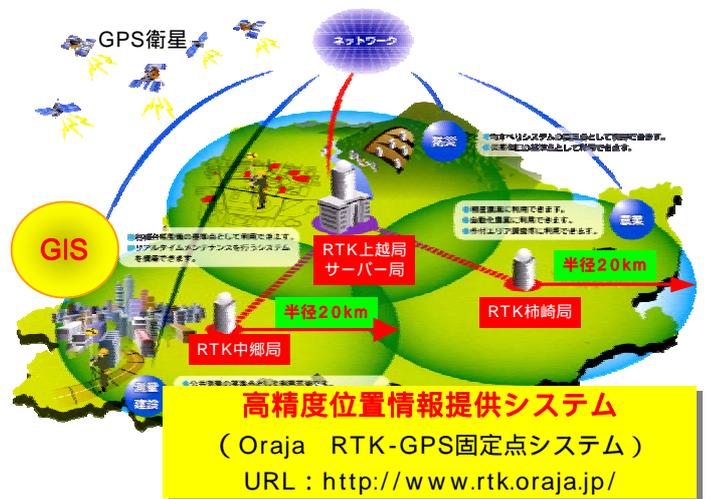
RTK-GPSデータによるリアルタイムな測線誘導とデータ取得。
通信はインターネット又は携帯電話を使用



平成19年5月30日、今国会で「地理空間情報活用推進基本法」が可決成立しました。

これは、2008年度打ち上げを予定している、準天頂衛星システム (QZSS) の効果的利用も視野に入れたまさに、国民的GIS活用時代の幕開けと言えるでしょう。

準天頂衛星は日本付近で常に天頂方向に1機の衛星が見えるように複数の衛星を準天頂軌道に配置した衛星システムであり、山間地、ビル陰等に影響されず、全国をほぼ100%カバーする高精度の測位サービスの提供を実現可能とするものです。これにより、高層ビルが立ち並び、少し狭くなるかもしれない空でも、朝も、昼も、夜も真上に準天頂衛星がいてくれます。

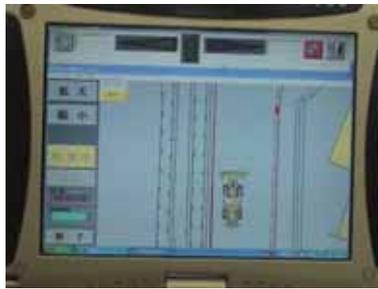


3年前から、くびき野GIS協同組合の主力メンバーとして、**高精度位置情報提供システム (国土地理院認証1級 RTK-GPS固定点)**を活用した「リアルタイムGIS」にこだわり、ついに昨年9月15日、「**福祉安心除雪支援システム**」の特許を取得しました。今後もGPSとGISを融合し、多方面にわたり上越地域の生活に密着したシステム開発と導入に取り組み、GIS産業の活性化により住民の皆様の生活環境向上にお役に立てればと思います。
(宮下編集長)

福祉・安心除雪支援システム



除雪管理者支援システム画面



除雪作業支援システム車載画面

-----当社のGIS業務実績 (抜粋)-----

- ・大潟水と森公園管理システム開発 (新潟県・都市緑化センター)
- ・上越市ガス水道マッピングシステム (上越市ガス水道局)
- ・水道管路施設情報システム (上越市名立区)
- ・土地利用現況図作成システム開発 (上越市)
- ・道路パトロールコース図作成システム開発 (上越地域振興局)
- ・公図集成図管理システム開発 (上越市頸城区)
- ・土地利用計画図作成システム開発 (上越市) 等々

GISは高価で特別のものではありません。日々の業務の効率化を図る表示ツールとして気軽に活用出来ます。お客様のニーズに沿ったシステム開発をポリシーとしています。

・ ・ 愛の献血が当社で ・ ・

例年3月に予定されている献血が今年も実施されました。この時期、血液が大変不足するという事で、上越市からの依頼を受け、病気・けが等で輸血が必要な人の為に少しでもお役に立てればとの思いから当社の毎年恒例行事のひとつになっています。また、健康管理の面からと言うのも、ひとつの理由で毎年20人ほどが実施しています。

最近では、近隣の企業の方も協力して頂ける様にも成り、感謝しているところです。今後も、皆さんの”温かい愛”を期待し、1回でも長く続けて行けるようにと思っています。

この日は、会社全体の協力で業務の予定を献血の時間帯に合わせて実施しています。協力して頂いた個人・企業の皆様、大変有り難うございました。



・ ・ 高田城跡公園観桜会 ・ ・

当日は、天候に恵まれ、高田公園内、図書館の裏、忠霊塔の付近を会場に、午後3時より会長・社長以下全職員、総勢50名で、かんぱ〜い! にぎやかに、大量のお酒・ビール・ジュース等で、心ゆくまで、満開の桜を楽しみました。やっぱり、花より団子でしょうか。

今夜は、最高!

とばかりに、夜の会場を散策し、その後は・・・?

想像におまかせ!



(高沢編集員)

新人くん、いらっしやい

新人の21歳清水です！
よろしくおねがいします



若いパワーで、これから益々頑張ってください！期待しています。

当社の久々の新入社員、清水くん(以下S)に、レポーターの丸山(以下M)が、突撃インタビューしました。

M: 入社してから、約2ヶ月がたちましたが、会社にはもう慣れましたか?

S: 実際仕事してみると、専門学校で習ってきた事と同じようにはいなくて、最初は戸惑いもありました。まだまだ分からない事がたくさんありますが、徐々に慣れつつあります。

M: どうして測量関係の道へ進もうと思ったのですか?

S: 小学生の頃から地図に興味があり、自分でも道路等を設計したいと思ったのがきっかけです。歴史は苦手でしたが、地理は得意でした。

M: 毎日のように朝早くから夕方遅くまで現場に出ているとお疲れだと思いますが、休日はどのように過ごしていますか?

S: たまに出かけたりもしますが、CDやラジオなどを聞いたりして、リラックスしてのんびりしています。専門学校時代は、自転車で片道4.5時間かけてサイクリングをした事が、思い出に残っています。

M: 最後に、これからの目標や夢などがありましたら、教えてください。

S: まずは体力をつけて、早く一人前になる事です。あとは、今は測量士補の資格しか持っていませんが、測量士や土木施工管理士など、いろいろな資格にチャレンジしていきたいと思っています。

(丸山編集員)

新人君ファイト!!

この度、年4回の季刊誌「桑原測量 Report」を発行することになりました。編集員6名が試行錯誤しながら作成した創刊号はいかがでしたでしょうか? 次号からは皆様からの投稿記事も掲載していく予定です。皆様と一緒に楽しみながら季刊誌を作っていきたいと思っております。不慣れな点が多いですが、今後ともよろしくお願い致します。

(渡邊編集員)

この度、「桑原測量Report」創刊号を発行させて頂きましたが、ご覧になられた皆さんはどうでしたか?

いつも何事にも熱い編集長を筆頭に、以下素人5人衆で創刊号発行に向けて頑張りました!(今私は訳あってこの記事だけですけど・・・)

今回の創刊号で、少しでも皆さんに当社の取り組みや姿勢が伝わったなら本当に嬉しいですし、次号発行に向けての意欲と自信につながります。次号発行は、9月を予定しておりますので楽しみにしてください。

(山崎編集員)

地域・社会に貢献できる会社をめざして
株式会社 桑原測量社

本社所在地
〒943-0873 新潟県上越市大字西田中62番地14
電話: 025-525-9100
FAX: 025-525-0840
URL: <http://www.kuwa-soku.co.jp/>



桑原測量広報室

- ・宮下編集長
- ・高沢編集員
- ・山崎編集員
- ・丸山編集員
- ・斉木編集員
- ・渡邊編集員